

# 筒森トンネルだより

発行元: 五洋・片岡特定建設工事共同企業体

夷隅郡 大多喜町 葛藤 603-1  
0470-80-9467  
渡辺 意一

## トンネル内の様子

5月連休明けから掘削を開始した筒森トンネルも順調に掘り進んでいます。掘削当初は地表に近い部分です。5月連休明けから掘削を開始した筒森トンネルも順調に掘り進んでいます。掘削当初は地表に近い部分です。5月連休明けから掘削を開始した筒森トンネルも順調に掘り進んでいます。掘削当初は地表に近い部分です。



筒森トンネル切り羽状況

## 地質について

その後は風化による亀裂が発達した泥岩が続きました。また、地表面沈下は掘削当初から継続して観測されていますが、事前予測値を上回るような沈下は発生していません。

トンネルが掘られる筒森地区の地下の地質はどうなっているのでしょうか。大多喜町を含む夷隅地域の地層は一般的に「上総層群」と呼ばれ、様々な地層が集合している地域の一部です。この中で「太田代層」と呼ばれる泥岩・砂岩の互層となっている部分をトンネルが通過します。

この層は約250万年前から40万年前に海の中で堆積した泥が、海底隆起により地表に現れたものです。化石などは含みませんが地中の微生物を起源とする天然ガスを含みます。事前のボーリング調査では天然ガスは確認されています。

切り羽では雨水の浸透による風化作用を受けた多亀裂部分（酸化により茶色となっている）と、比較的新鮮な暗灰色泥岩が現れています。ただし目視できる範囲だけです。

## 君津側ズリ運搬・敷均し



ズリ運搬状況

7月初旬よりトンネルズリは、君津側の道路整備箇所へ運搬・敷均しをしています。

運搬に際しては誘導員を配置していますのでご協力をお願いします。

## 8月の工事予定

8月はトンネル掘削を一時中止して、図に示すような「インバート」を施工します。



インバートイメージ

## 大多喜側ズリ運搬・敷均し

トンネル掘削当初より発生していたズリは、大多喜側の道路整備箇所へ運搬・敷均しをしました。運搬に際してはご協力ありがとうございました。



起点方盛土完了状況

## トンネル余話

トンネルの延長記録しているを紹介し

ます。

人間が往来するトンネルとして世界最長のものは、鉄道トンネルである津軽海峡線の青函トンネルで、全長53.85km。海底部が世界最長の鉄道トンネルは、英仏海峡トンネルで、全長50.49km、海底部長37.9km。

世界最長の鉄道の山岳トンネルは、スイスのレッチェンベルクベーストンネルで、全長約34.6km。日本最長の狭軌鉄道の山岳トンネルは北陸トンネル（40年前の火災事故で多数の死者が出た）で、全長13.87km。

世界最長の狭軌鉄道の山岳トンネルは、スイスのフェライナトンネルで、全長19.0km。日本最長の連続した地下鉄トンネルは、都営地下鉄大江戸線で、光ヶ丘（都庁前）都庁前の全線が該当し、40.7km。世界最長の道路トンネルは、ノルウェーのラルダールトンネルで、全長24.51km。日本最長の道路トンネルは、関越自動車道にある関越トンネルで、全長は上り線が11.06km、下り線は10.93km。

いやはや、人類というものは便利に生活するための努力は惜しまぬものです。